

医療機関名	回答者名	役職	連絡先	医療圏	現在の病床数	医療療養	介護療養	一般病床	その他	その他	地域包括ケア病棟の有無	回復期リハビリテーション病棟の有無	I・II・III	医療療養病床の有無	基準	病床数	一般病床の有無	基準	療養機能強化型	病床数	強化型でない病床	昨年の病床報告制度で報告された内容	将来の病床機能	療養病棟の転換	予定	その他意見	
21	拾六町病院	永尾 重喜	顧問	092-881-0112	福岡系島	62	62				なし	なし										慢性期2病棟	現状維持			一人世帯や老人二世帯で医療度及び介護度が高いが、国が定めている医療区分では1の患者をどうするのか。胃ろうや経鼻経管の患者は介護施設ではなかなか入所が難しい。一億総活躍と言っていますが、女性への無言の圧力のように感じます。「子供は産め、老人の面倒はみれ」経済的な圧力、精神的な圧力だと感じています。若い頃、一生懸命働いた人は死ぬ時ぐらいいは経済的な問題を考えずに死ぬ世の中にして欲しい。施設に移って欲しいのですが、介護施設の費用が高すぎる。国民年金でまかなえない。「どうするのですか」と家族に言われています。	
22	稲築病院	高木 伸隆	事務長補佐	0948-42-1110	飯塚	181	101	80			あり	なし		あり	20対1 25対1	51 50	あり	10対1	なし		なし	急性期1病棟 回復期1病棟 慢性期2病棟	現状維持				
23	原土井病院	鈴木 崇	事務部長	092-691-3881	福岡系島	556	176	0	86	包括104 回復期104	あり	あり	II・III	あり	20対1	176	あり	10対1	なし				現状維持				
24	遠賀いそべ病院	福田 正男	事務部長	093-293-7200	北九州	105	60	45			なし	なし		あり	20対1	60	なし		A	45	なし	慢性期2病棟	現状維持	療養病床を確保しつつ介護病棟の転換を検討中		厚生労働省は療養病床の大幅な減床を考えているようですが、当地域の現状をみると医療的なケアが必要な高齢者が多く存在し、これから益々増え続けるのが現状です。居宅へ向かうことはある程度やむを得ないのかもしれないが、費用の本人負担の大幅な増額、家族の介護の限界	
25	牟田病院	義本 正二	事務部長	092-865-3522	福岡系島	163	60	60	回復期43		あり	あり	I	あり	20対1		あり	10対1	なし		なし	急性期60床 回復期43床 慢性期60床	現状維持				
26	水戸病院	西 健育	事務部長	092-935-3755	糟屋	163	44	55	64	0	あり	なし		あり	20対1	44	あり		地域包括1 障害者10対1	A	55	なし	急性期1病棟 回復期1病棟 慢性期2病棟	現状維持			会員病院に関する各種研修の大半が東京、大阪等の大都市で行われていることが多いので、地方(特に福岡)でも開催していただける様働きかけていただきたい。
27	有吉病院	田中 徹也	事務局長	0949-34-6077	直方・鞍手	146	56	90			なし	なし		あり	20対1	56	なし		A	90		慢性期3病棟	現状維持	平成30年4月			